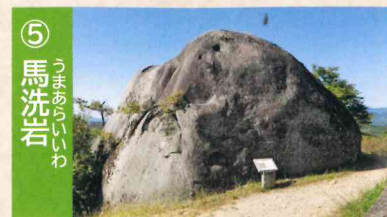


苗木城跡 案内図



① 大矢倉
三階建ての大きな矢倉。御鳩小屋とも呼ばれていました。



⑤ 馬洗岩
この岩の上に馬を乗せて洗ったと言い伝えられる、周囲 45m 程の自然石です。



② 千石井戸
天守近くにある井戸です。今でも水が湧き出ています。



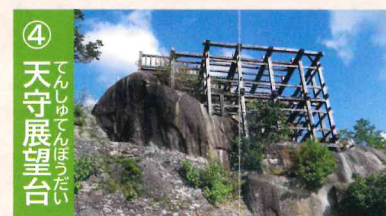
⑥ 笠置矢倉
笠置山に向かって設置された物見矢倉です。絶景が楽しめます。



③ 武器蔵
鉄砲や弓等の武器蔵で、礎石や縁石は当時のまま残されています。



⑦ 八大龍王
遠山家の守り神。明治時代に現在の場所に据えられました。



④ 天守展望台
天守の柱があった穴を再利用した展望台からは、美しい景色が見渡せます。



⑧ 二の丸
領主遠山家の住居や家臣が集まる部屋がありました。

View Point

あしがるながや 足軽長屋からの眺望

かつては、足軽の長屋(詰所)があった場所。天守跡と恵那山を同時に望め、写真撮影にオススメです。



View Point

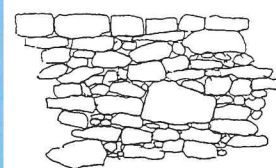
天守展望台からの景色

天守があった場所に建てられた展望台からは、木曾川や恵那山、中津川市街が見渡せ、絶景が楽しめます。



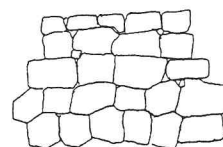
自然石を利用した石垣

天然の巨岩を利用して構築された石垣は全国でも大変めずらしいもの。大矢倉などで岩を抱きかえるように積まれた石垣をみることができます。また、年代によって異なる技法で積まれているのも見ものです。



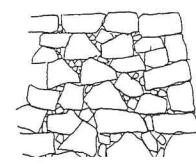
のづらづ 野面積み A

大きさの違う自然石を積み上げて作られています。技術的には初期の石積方法で、戦国時代によく使われた技法です。



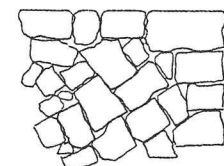
きりこみは 切込接ぎ C

石を平刀状の工具で削って調整し、石同士の隙間を極力小さくしながら積み上げています。江戸時代初期以降に用いられました。



うちこみは 打ち込ぎ B

石同士が接する部分を打ち欠いて平にし、隙間に間詰石を詰めながら積み上げています。野面積みより高く急な勾配が可能です。



たにづ 谷積み D

平石同士の間の谷部分に、隅を立てた平石を落として積み上げています。この積み方は、昭和期まで道路工事などでも使われました。